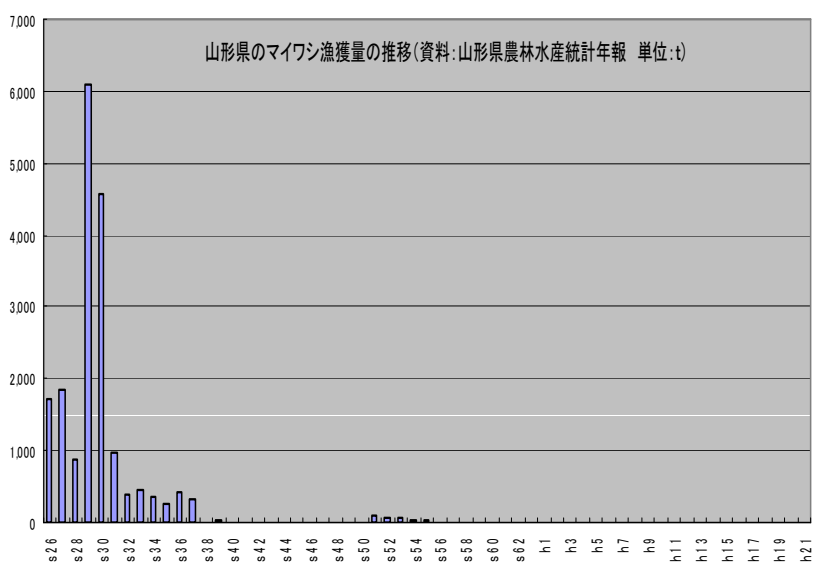
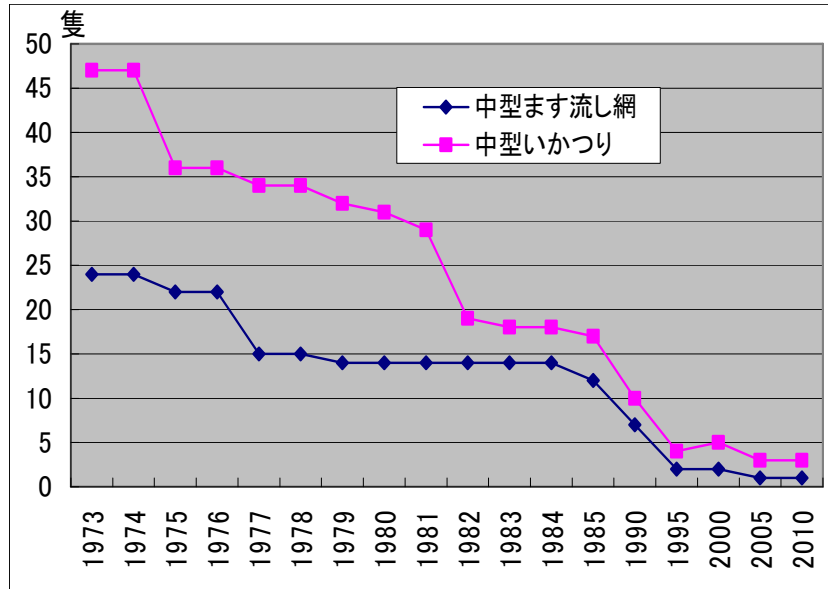


少し昔の北部日本海のマイワシ漁 と山形県の漁業

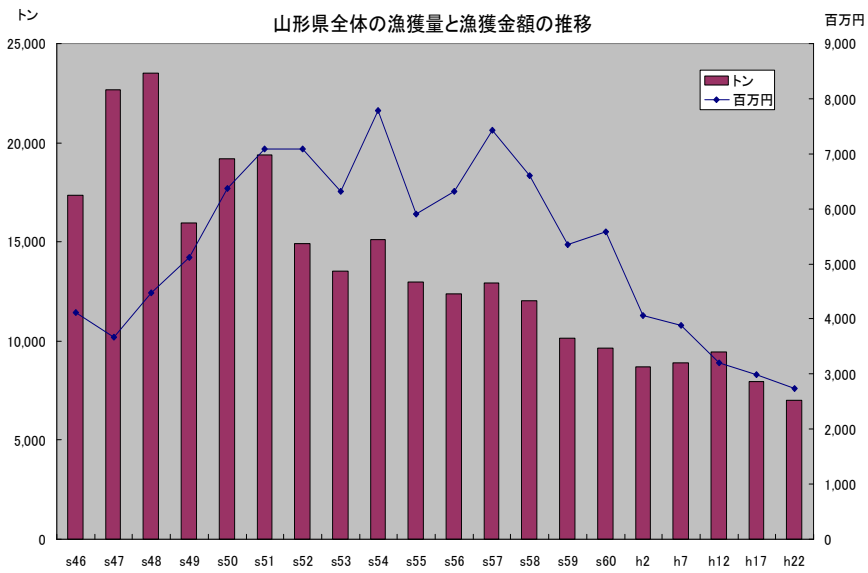
佐藤 洋(山形県水産試験場)



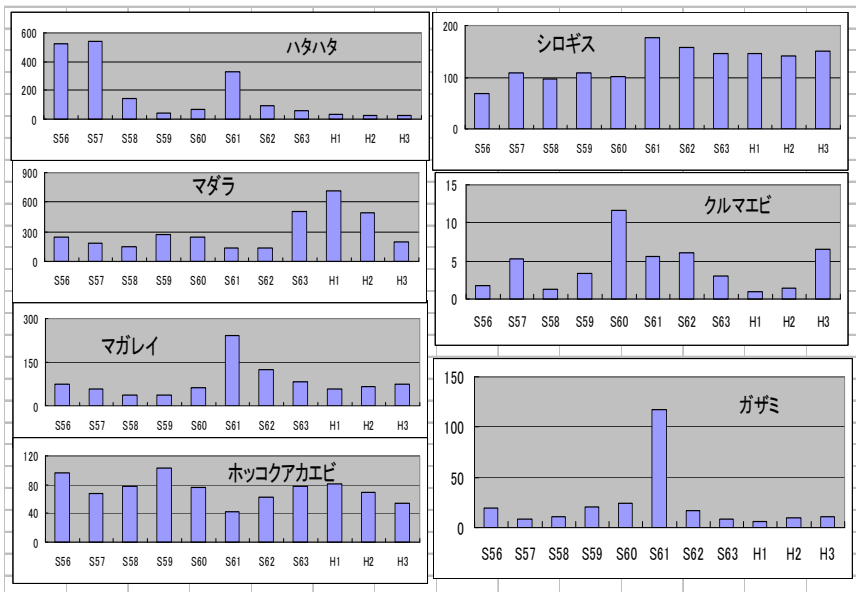
山形県沖合漁業の許可隻数の推移



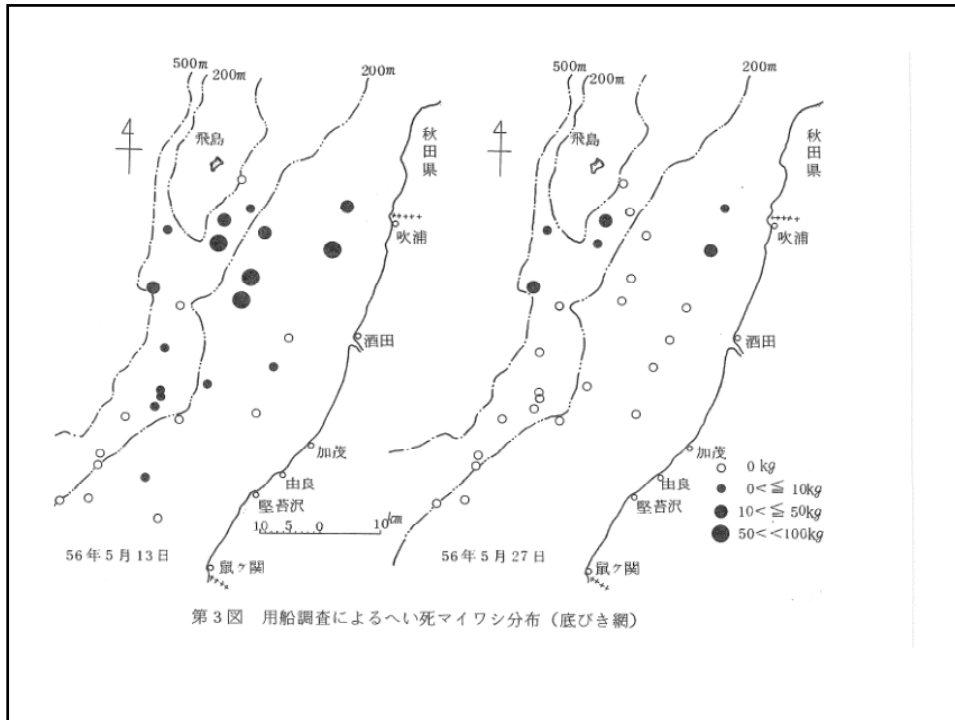
山形県全体の漁獲量と漁獲金額の推移



山形県の昭和59年生まれ卓越年級群の漁獲状況(単位:t)



山形県の漁業関連特記事項					
沖合漁業(中型船)		底びき網漁業		世慣・沿岸漁業	
西暦	年号	西暦	年号	西暦	年号
1955	s30	1965	s40	1965	s40
日本海マス流し網漁業開拓		マスはえなわ兼業時代 いか釣り兼業時代		高度成長 オイルショック	
1977	s52	1980	s55		
200海里体制開始		夜間操業の解禁			
マス流し網船の減船 イカ釣り船の減船					
				1984	s59
				酒田港が特水	
		1985	s60	1985	s60
		小型魚漁獲実態調査		きずさし網漁業の操業区域拡大	
		1986	s61		
		減船:5トン以上船10隻		1988	s63
				ガザミの禁漁期間撤廃	
		1989	H1		
		資源管理型漁業		1990	H2
				バブル崩壊	
		1998	H10		
		新日韓漁業協定			
				2002	H14
				漁船法馬力の改正	



第2表 マイワシ大量へい死の経過

月日	異常現象と経過	対策の内容
4. 2	海岸でワミネコの群集見られなくなった。	
4. 3	県南海域で底びき船が仮死状態の小羽イワシを漁獲。一部水揚げし、残りは投棄した。	
4. 7	タラ場で海面にイワシが浮上する。エラは白色。	4. 8/9 (沿岸漁場規制) 距岸25海里内 20定点
4. 9	マス延縄漁船がアラ場付近で狂奔するマイワシをタモ網で抄った。底びき網にへい死イワシ入り始まる。	
4. 10	鼠ヶ間地区底びき船が1隻最高1.5トンを漁獲し、投棄する。	
4. 12	へい死イワシのふ散が進行するとともに、海域も拡大している。	
4. 15/16	鼠ヶ間、由良、今泉、湯の浜等の海岸に小羽イワシが打ち上げられた。	4. 16 漁業者から聞き取り (水産事務所)
4. 16	へい死魚のふ散さらに進行、悪臭が強まり底びき漁獲物に悪臭し、返品も出る。	4. 17 実態調査打合せ (水試)
4. 19/29	へい死魚の実態調査 (底びき船5隻 用船) この期間、沿岸域のカレイ刺網にへい死イワシが漂流・羅網する。	4. 19 第1回漁場環境調査 (月案) 4. 22 まいわし対策協議会設立席上、4. 19調査結果報告
5. 13	へい死魚の実態調査 (底びき船5隻 用船)	5. 6 まいわし対策協議会 (第2回)
5. 27	同上 (底びき船5隻 用船)	5. 6/7 第2回漁場環境調査 (月案) 5. 12 用船調査打合せ (水試) 5. 14 5. 6-7調査結果報告 6. 2 漁場環境調査中間報告 まいわし対策協議会解散